

第1日 5月13日(土)

会場：アスト津4階 アストホール

開会の挨拶 (9:40~9:50) 会長：川西正祐

酸化ストレスと疾患1 (9:50~10:30) 座長：松井裕史(筑波大)

O-01 胃粘膜由来がん様変異株における活性酸素代謝の検討

○前田るい¹、松井裕史²、下川治²、長野由美子²、間宮孝²、金子剛²、谷中昭典²、安部井誠人²、松崎靖司²、兵頭一之介²、浦野泰照³、長野哲雄³、犬童寛子⁴、馬嶋秀之⁴

¹筑波大学生命環境科学研究科、²筑波大学人間総合医学研究科、³東京大学大学院薬学系研究科、⁴鹿児島大学大学院医歯学研究科

O-02 15-deoxy- $\Delta^{12,14}$ -PGJ₂注腸によって誘導される大腸粘膜 Heme oxygenase-1(HO-1)はマウス実験腸炎を改善させる

○高木智久¹、内藤裕二²、鈴木隆裕³、梶川洋和³、水島かつら³、石井剛志³、寺尾晃一³、赤桐里美³、半田修¹、古倉聡¹、市川寛⁵、吉田憲正⁴、吉川敏一³

¹京都府立医大生体安全医学、²京都府立医大生体機能分析医学、³京都府立医大生体機能制御学、⁴京都府立医大消化器病態制御学、⁵京都府立大学人間環境学部

O-03 C型慢性肝炎における肝内酸化ストレスの病態と治療効果への関与—原因としての肝内鉄沈着および hepcidin—

○藤田尚己¹、堀池眞一郎¹、杉本龍亮¹、浦和尚史¹、田中秀明¹、小林由直¹、岩佐元雄¹、垣内雅彦¹、足立幸彦¹、平工雄介²、及川伸二²、村田真理子²、川西正祐²

三重大学大学院医学系研究科¹病態制御医学消化器内科学、²環境社会医学環境分子医学

O-04 血漿中抗酸化物質濃度から評価した酸化ストレスと肝発がんリスク

○古倉聡¹、今本栄子²、新井正弘²、内藤裕二³、山本順寛⁴、吉川敏一⁵

¹京都府立医科大学生体安全医学講座、²国立病院機構舞鶴医療センター、³京都府立医科大学生体機能分析医学、⁴東京工科大学バイオニクス学部、⁵京都府立医科大学生体機能制御学

奨励賞候補講演 (10:30~12:00) 座長：増野匡彦(共立薬大)、山本順寛(東京工科大)

奨励-01 制癌剤シスプラチンの腎細胞障害において細胞内カルシウム濃度増大が活性酸素を産生させる

○河合悦子、中尾貴史、白井雅子、幸田祐佳、玄番宗一
大阪薬科大学薬理学

奨励-02 抗酸化酵素制御転写因子 Nrf2 による胃粘膜 H⁺K⁺ATPase の誘導

○長野由美子¹、下川治¹、松井裕史¹、間宮孝¹、金子剛¹、前田るい¹、谷中昭典¹、安部井誠人¹、松崎靖司¹、兵頭一之介¹、伊東健²、山本雅之¹

¹筑波大学大学院人間総合医学研究科、同生命大学院環境科学研究科、²弘前大学高度先進医学研究センター

奨励-03 酸化ストレス応答と加齢のプロテオーム解析

○三浦ゆり¹、加納まゆみ¹、鈴木捷三¹、遠藤玉夫¹、戸田年総²
東京都老人総合研究所¹ 老化ゲノム機能、² 老化バイオマーカー

奨励-04 ホスファチジルセリン極性基の機能を保護する新規合成抗酸化分子

○中川秀彦、大山亮、木全絢子、鈴木孝禎、宮田直樹
名古屋市立大学大学院薬学研究科

奨励-05 マウス小腸虚血再灌流モデルにおける Ethanol Preconditioning (EPC) 効果への eNOS、カルシトニン遺伝子関連ペプチド(CGRP)の関与について

○鎌田和浩¹、Korthuis RJ²、高木智久³、半田修³、古倉聡³、内藤裕二⁴、吉田憲正⁵、
吉川敏一¹

¹ 京都府立医科大学 生体機能制御学、² Medical Pharmacology and Physiology University of Missouri-Columbia、³ 京都府立医科大学 生体安全医学、⁴ 生体機能分析医学、⁵ 消化器病態制御学

ランチョンセミナー (12:30~13:30) (会場：ホテルグリーンパーク津6階)
(共催：株式会社ファンケル)

「機能性食品の有効性と安全性」 座長：谷川 徹 (同志社大)

ヒドロキシチロソールの顔面色素沈着に対する効果

船坂 陽子
神戸大学医学部 皮膚科

**発がん物質投与時のマウス肝臓での網羅的遺伝子発現解析
—新規安全性試験の確立を目指して—**

古倉 聡
京都府立医科大学 生体安全医学講座

総会 (13:50~14:10) (会場：アスト津4階 アストホール)

抗酸化物質 1 (14:10~14:50) 座長：福原 潔 (国立衛研)

O-05 サルモネラの新規病原性関連因子 SEp22 の過酸化水素抵抗性に及ぼす DNA の役割

○天野富美夫、澤田尚孝、三谷真也、田村愛、寺井志織
大阪薬科大学・生理機能化学研究室

O-06 プリオンタンパク質の抗酸化活性における N 末端領域 octarepeat ドメインの役割

○渡邊康子^{1,3}、稲波修^{1,3}、井上哲¹、飯塚大輔¹、堀内基広^{2,3}、桑原幹典¹
北大院獣医、¹放射線、²プリオン病学、³北大 COE プログラム

O-07 レスベラトロールをシーズとした新規抗酸化剤の開発

○福原潔¹、中西郁夫^{2,3}、松村友博⁴、斎藤真一⁴、宮田直樹⁵、小澤俊彦^{2,7}、伊古田暢夫²、奥田晴宏¹

¹国立衛研、²放医研、³阪大院工・SORST、⁴東理大、⁵名市大院薬、⁷東北大未来研

O-08 ビタミンE とユビキノール-10 のフリーラジカル消去反応の構造活性相関： 反応速度の pH 依存性

○向井和男¹、徳永愛子¹、伊藤慎吾¹、兼崎友¹、小原敬士¹、長岡伸一¹、阿部皓一²

¹愛媛大理、²エーザイ(株)

抗酸化物質 2 (14:50~15:30) 座長：桑原幹典（北海道大）

O-09 樹皮のフリーラジカル消去作用とフラボノイドについて

○平松緑^{1,2}、大江知生¹、高橋知子²

¹東北公益文科大学・²大学院

O-10 ニンニクの抗酸化成分について

○田口寛

三重大学大学院・生物資源学研究科・分子細胞生物学分野

O-11 アントシアニンの構造と生体内吸収・代謝の関係

○一柳考志、波田野義比古、小西徹也

新潟薬科大学応用生命科学部

O-12 組織、および血液中の酸化ストレスに対するパパイヤ発酵食品 FPP(Fermented Papaya Preparation)の影響

○吉田地里¹、清水博¹、Francesco Marotta²、Eitan Fibach³、Elizer Rachmilewitz³

¹大里研究所、²Hepato-Gastroenterology Dept., S. Giuseppe Hosp., Milano, Italy、³Hematology Dept., Hadassah University Hosp., Jerusalem, Israel

シンポジウム (15:30~17:30) 座長：大澤俊彦（名古屋大）、村田真理子（三重大）

テーマ「抗酸化剤の有効性と安全性」

S-01 抗酸化ポリフェノールの有効性を中心に

大澤俊彦

名古屋大学大学院生命農学研究科

S-02 緑茶カテキンの大腸炎および大腸がん促進作用

大東肇

京都大学大学院農学研究科

S-03 DNA 損傷性を指標とした抗酸化剤の安全性評価

村田真理子

三重大学大学院医学系研究科

S-04 血管内皮接着分子をバイオマーカーとした食品因子の抗動脈硬化機能性評価

内藤裕二

京都府立医科大学

ポスター示説 (17:40~19:00) (会場：アスト津5階 ギャラリー1)

奇数番号 17:40~18:20

偶数番号 18:20~19:00

懇親会 (19:20~) (会場：ホテルグリーンパーク津6階)

第2日 5月14日(日)

会場：アスト津4階 アストホール

酸化ストレスと疾患2 (9:30~10:10) 座長：井上正康 (大阪市立大)

O-13 長期糖尿病 WBN/Kob ラットの各種臓器での酵素的活性酸素消去能の変化

○太田好次¹、篠原力雄²

¹藤田保健衛生大・医・化学、²名城大・薬・臨床化学

O-14 SOD1 ノックアウトマウスにおける貧血と抗赤血球抗体の生成機構

井内良仁¹、岡田太¹、小沼邦重¹、小林正伸^{2,3}、○藤井順逸¹

¹山形大院医・生命環境医科学・生体分子機能学、²北海道大・遺伝子病制御研、³(株)オンコレックス

O-15 排卵における活性酸素とアポトーシスの意義

○佐藤英介、大澤晴美、上田弥生、井上正康

大阪市立大学院医学研究科分子病態学

O-16 ウシの分娩後における顆粒白血球の NADPH オキシダーゼ活性

○稲波修、脇研二、桑原幹典

北海道大学大学院獣医学研究科放射線学教室

レドックスシグナル1 (10:10~10:40) 座長：近藤 隆 (富山大)

O-17 Humanin による放射線誘発アポトーシスの抑制

○犬童寛子¹、富田和男¹、下小野田一騎²、竹之内剛²、井尻幸成²、小宮節郎²、小澤俊彦³、馬嶋秀行¹

¹鹿児島大学医歯学総合研究科腫瘍学講座・宇宙環境医学講座、²鹿児島大学医歯学総合研究科運動機能修復学講座整形外科学分野、³東北大学未来科学技術共同研究センター

O-18 異なる活性酸素発生剤による温熱誘発アポトーシス増強に関わる遺伝子群の解析

和田重人¹、○近藤隆²、田淵圭章³、高崎一朗³、崔正国^{4,5}、趙慶利²、T.L. Salunga²、小川良平²、荒井俊之⁶、牧野圭祐⁷、古田勲¹

¹富山大・医・口外、²富山大・医・放基、³富山大・生命科学先端研究センター、⁴21th COE プログラム、⁵富山大・医・病理(1)、⁶京大・病院・手術、⁷京大・エネ理工研

O-19 グルタミン酸誘導グリア細胞死でアラキドン酸によるネクローシスの促進

○樋口善博¹、谷井秀治²、水上勇治³、吉本谷博¹

金沢大学医学系研究科、¹分子情報薬理、²環境生体分子応答、³放射線技術科学

レドックスシグナル2 (10:40~11:10) 座長：野口範子 (同志社大)

O-20 光強度および春化によるグルタチオンを介した花成制御

柳田元継、逸見健司、岩崎 (葉田野) 郁、○小川健一
岡山県生物科学総合研究所 (RIBS Okayama) & JST・CREST

O-21 酸化ストレスの新概念(1) 脂質過酸化生成物による細胞の耐性昂進

Z-H. Chen¹、斎藤芳郎¹、吉田康一¹、関根あずさ²、野口範子^{2,3}、○二木鋭雄¹
¹産業技術総合研究所ヒューマンストレスシグナル研究センター、²東京大学先端科学技術研究センター、³同志社大学工学部

O-22 酸化ストレスの新概念(2) 脂質過酸化生成物による細胞の防御力昂進メカニズム

Z-H. Chen¹、斎藤芳郎¹、吉田康一¹、関根あずさ²、○野口範子^{2,3}、二木鋭雄¹
¹産業技術総合研究所ヒューマンストレスシグナル研究センター、²東京大学先端科学技術研究センター、³同志社大学工学部

特別講演 (11:10~12:00) 座長：川西正祐 (三重大)

神経疾患とフリーラジカル

葛原茂樹
三重大学大学院医学系研究科

ランチョンセミナー (12:10~13:10) (会場：ホテルグリーンパーク津6階)

(共催 P&G SK-II)

「皮膚における紫外線誘発活性酸素の役割および ROS スカベンジャーの働き」

座長：市橋正光 (サンクリニック、サンケア研究所)

紫外線誘発活性酸素が光老化の主原因！

市橋正光
サンクリニック、サンケア研究所

紫外線誘発皮膚傷害における活性酸素の役割

豊國伸哉
京都大学大学院医学研究科 基礎病態学講座病態生物医学

教育講演 (13:20~14:00) (会場：アスト津4階 アストホール)

座長：吉川敏一 (京都府立医大)

ESRI、OMRI による生体内レドックス動態の分子イメージング

内海英雄
九州大学大学院薬学研究院

NO (14:00~14:30) 座長：丸山一男 (三重大)

O-23 LPS 誘導 NO 産生量および 8-ニトログアノシン生成に対する内分泌かく乱物質の影響

○吉武淳¹、澤智裕²、赤池孝章²、吉村哲彦¹

¹(財)山形県産業技術振興機構・機能性活性種研究開発プロジェクト、²熊本大学大学院医学薬学研究部 微生物学分野

O-24 食道胃接合部で発生した NO による周囲粘膜 tight junction の傷害

○荒誠之^{1,2}、飯島克則¹、浅沼清孝^{1,2}、下瀬川徹¹、吉村哲彦²

¹東北大学大学院消化器病態学、²山形県産業技術振興機構

O-25 慢性低酸素暴露肺高血圧血管病変発症におけるレチノイドの作用

○丸山一男¹、姜保華¹、横地歩¹、岡田アムボン¹、福山潤子¹、丸山淳子²

三重大学大学院医学系研究科 ¹病態解明医学講座麻酔集中治療学、²生理学

酸化ストレスの評価 (14:30~15:00) 座長：小澤俊彦 (放医研)

O-26 光照射による、dichlorofluorescein から monochlorofluorescein の生成

松郷誠一¹、笹井将明¹、新森英之¹、安井文彦¹、竹内実²、○竹内亨³

¹山梨大学工学部生命工学科、²京都産業大学工学部生物工学科、³鹿児島大学医歯学総合研究科

O-27 蛍光プローブ DPAX による照射光葉緑体での一重項酸素のリアルタイム検出

○山本英司¹、浦野泰照²、梅澤直樹²、長野哲雄²、浅田浩二¹

¹福山大学生命工学部、²東京大大学院薬学系研究科

O-28 酸化ジアシルグリセロール定量法の開発

○谷野豊¹、山下聡²、山本順寛¹

¹東京工科大学バイオニクス学部、²国立がんセンター研究所発がん研究部

DNA 損傷 (15:00~15:30) 座長：荻野哲也 (岡山大)

O-29 紫外線誘発性の p53 活性化と DNA 修復反応のモノクロラミンによる抑制

○荻野哲也¹、平松万尚²、尾崎倫孝³、岡田茂⁴

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 ¹病態探究医学、²総合診療内科、⁴食品健康科学、

³北海道大学大学院医学研究科 置換外科・再生医学講座

O-30 マウス染色体における酸化的 DNA 損傷の分布

○赤塚慎也¹、Than Tin Aung¹、白瀬智之¹、Dutta Khokon Kumar¹、李文華¹、蔣麗¹、劉玉亭¹、

Janice Onuki¹、内藤裕二²、吉川敏一²、河合慶親³、内田浩二⁴、豊國伸哉¹

¹京大・院医・病態生物医学、²京府医大・院医・生体機能制御学、³徳島大・院ヘルスバイオサイエンス研究部・食品機能学、⁴名大・院生命農・応分生科

O-31 光照射および代謝によるメチルパラベンの活性化と DNA 損傷

松波晋平、林知宏、岡本誉士典、○植田康次、小嶋仲夫
名城大学薬学部

ESR 1 (15:30~16:10) 座長：岩橋秀夫 (和歌山県立医大)

O-32 N-diethylnitrosamine(DEN)誘発肝癌の進展に関与するフリーラジカル解析

○山田健一、山宮育郎、吉田昌代、内海英雄
九州大学大学院薬学研究院

O-33 ラット肝ミクロソームと ADP/3 価鉄/NADPH との反応より生成するフリーラジカルの HPLC-ESR-MS 法による構造決定

○南方克之¹、奥野悦生²、岩橋秀夫¹
¹和歌山県立医科大学・生体分子解析学, ²九州栄養福祉大学・臨床栄養学

O-34 金属イオン共存下における茶カテキンのサイクリックボルタモグラフと OH ラジカル生成能

早川史子¹、南雲亜紀子¹、○木村隆英²
¹滋賀県大・人文・食生活、²滋賀医大・化

O-35 酸化チタン系光触媒とアミノ酸およびペプチドのラジカル反応機構

○田嶋邦彦¹、森尚子¹、金折賢二¹、牧野圭祐²、山崎鈴子³、中島暉⁴
¹京都工繊大、²京大国際融合創造センター、³山口大理、⁴宮崎大医

ESR 2 (16:10~16:40) 座長：田嶋邦彦 (京都工繊大)

O-36 新規 ESR 用スピントラップ剤 (CYPMPO) の評価

○大和田滋¹、上林将人²、大田俊作²、山下正行²、川崎郁勇²、亀田裕昭³、岡田泰一³、
真明正志⁴、遠藤伸之⁵、古武弥成⁶
¹あさおクリニック、²京都薬科大学、³三國製薬、⁴ラジカルリサーチ、⁵若狭湾エネルギー研究センター、⁶京大国際融合創造センター/OMRF

O-37 細胞内酸化ストレス測定を目指した脂質膜分布型 TEMPO 誘導体の合成と評価

○伴静華、中川秀彦、鈴木孝禎、宮田直樹
名古屋市立大学大学院薬学研究科

O-38 溶液中のラジカル測定のための小型高感度 ESR 装置の開発

○白石卓夫、和田守弘、鈴木洋介、山下盛久、大矢博昭
キーコム株式会社

閉会の挨拶 (16:40)

ポスター発表 (5月13日 (土) 17:40~19:00)

(会場: アスト津5階 ギャラリー1)

酸化ストレスと疾患

P-01 スルフォラファン¹の胃癌予防効果に関するトランスレーショナルリサーチ

○谷中昭典¹、伊東健³、田内雅史¹、松井裕史¹、兵頭一之介¹、山本雅之²

¹ 筑波大学大学院人間総合科学研究科消化器内科、² 同先端学際領域研究センター、³ 弘前大学医学部附属高度先進医学研究センター

P-02 肥満を伴う2型糖尿病 OLETF ラットにおける心血管系酸化ストレスと脱共役タンパク UCP2 の役割および NO/cGMP 系への関与

○南山幸子¹、竹村茂一²、尾藤康行³、高橋洋介³、末広茂文³、岡田茂¹

¹ 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科食品健康科学、大阪市立大学大学院² 肝胆膵外科学・³ 心臓血管外科学

P-03 肝障害モデルラットにおける肝臓 MAPK の活性化

○市育代、西岡瞳、岸岡輝美、飯田ちなつ、藤井こずえ、小城勝相

奈良女大・食物栄養

P-04 脳低温療法施行症例の内頸静脈血 hydroperoxide 濃度及び、抗酸化能の変化について

○土肥謙二¹、佐藤和恵²、中村俊介¹、山本武史¹、平塚圭介¹、三宅康史¹、塩田清二²、有賀徹¹

昭和大学医学部¹ 救急医学講座、² 第一解剖学講座

P-05 自然発症矮小ラット(SDR)の寿命延長と酸化ストレス抵抗性

○田原正一¹、新海正¹、佐々木徹¹、松本茂信¹、倉本和直²、近藤昊³、金子孝夫¹

¹ 都老人研・レドックス制御、² 都老人研・実験動物、³ 人間総科大

P-06 老化促進モデルマウスを用いた機能プロテオミクス解析による酸化損傷タンパク質の検出

○古川絢子^{1,2}、及川伸二¹、島田厚良³、箱田奈南¹、細川昌則³、川西正祐¹

¹ 三重大院・医・環境分子医学、² 日本学術振興会特別研究員 DC、³ 愛知県心身障害者コロニー・発達障害研究所・病理

P-07 環境化学物質の酸化ストレス作用を介する Th1/Th2 インバランスの誘導とアレルギー疾患増悪作用

○加藤琢磨¹、及川(多田)佐枝子²、斉藤佳奈子¹、川西正祐²、栗林景容¹

¹ 三重大・医・生体防御、² 同・環境分子医学

P-08 Griseofulvin による aminolevulinic acid-based photodynamic therapy (ALA-PDT)の増強効果

○野村城二、柳瀬成章、徳田徹、松村佳彦、田川俊郎

三重大学医学部口腔外科学講座

酸化ストレスの評価

P-09 一重項酸素依存的に起こる p-ヒドロキシ安息香酸エステル類からのグルタチオン 抱合ヒドロキノンの生成

西澤千穂^{1,2}、○竹下啓蔵^{1,3}、上田順市¹、鈴木和夫²、小澤俊彦^{1,4}
¹放医研、²千葉大薬、³崇城大薬、⁴東北大 NICHe

P-10 一重項酸素によるプロテアーゼ阻害機構の解析

○須藤大輔¹、佐藤和昭²、大場好弘²、藤井順逸¹
¹山形大院医・生命環境医科学・生体分子機能学、²山形大・工・物質化学工学

P-11 次亜塩素酸による新規蛋白修飾機構の検討

○永井竜児¹、原口望^{1,2}、藤原章雄¹、清田直子¹、坂本裕一郎¹、小田切優樹²
熊本大学大学院医学薬学研究部病態生化学¹、薬物動態制御学²

P-12 脂質過酸化に由来するリジン付加体の検出定量について

○日坂真輔¹、北元憲利¹、吉田晃浩²、内藤通孝³、丸山和佳子⁴、大澤俊彦⁵、加藤陽二¹
¹兵庫県立大院・環境人間学研究科、²中津川市民病院、³椋山女学園大院・生活科学研究科、⁴長寿医療センター、⁵名古屋大院・生命農学研究科

P-13 新規次亜塩素酸特異的蛍光プローブの開発

○見目勝^{1,2}、浦野泰照^{1,3}、長野哲雄^{1,2}
¹東大院薬、²JST CREST、³JST さきがけ

P-14 MRI レドックス感受性造影剤としてニトロキシルラジカルを使うことの利点

○松本謙一郎¹、安西和紀¹、檜崎美智子²、池平博夫²、伊古田暢夫¹
放射線医学総合研究所¹ レドックス制御研究グループ、²分子イメージング研究センター先端生体計測研究グループ

抗酸化性、抗酸化物質

P-15 相互作用蛋白質探索を指向した樹脂結合性ポリフェノール誘導体の開発と応用

○水谷桂子、中川秀彦、鈴木孝禎、宮田直樹
名古屋市立大学大学院薬学研究科

P-16 Synergistic effect and antioxidant activity of anthocyanins at different pH

○M. Mamunur Rahman¹, Takashi Ichiyangi¹, Yoshihiko Hatano¹, Seiichi Matsugo², Tetsuya Konishi¹
¹Niigata Univ. of Pharm. & Appl. Life Sciences, Niigata, ²Yamanashi University, Yamanashi, Japan

P-17 食用菊由来アントシアニンの抗酸化作用と体内動態

○丹野克俊、一柳考志、小西徹也、波田野義比古
新潟薬科大学応用生命科学部

P-18 ケルセチン代謝物を認識するモノクローナル抗体を用いた体内動態の解析

○河合慶親¹、齋藤聡美¹、内田浩二²、柴田亮行³、寺尾純二¹
¹徳島大・院ヘルスバイオサイエンス、²名古屋大・院・生命農学、³東京女子医大・病理学

P-19 マメ科熱帯植物 *Castanospermum australe* 由来のイソフラボンによる DNA の酸化
的損傷抑制作用

○塙藤徳¹、平川和貴²

¹森林総合研究所・樹木抽出成分研、²静岡大学工学部共通講座

P-20 ミネラル含有酵母の放射線防護効果

○安西和紀¹、上野恵美¹、乳井美奈子¹、薬丸晴子¹、中西郁夫¹、伊古田暢夫¹、鍵谷勤²

¹放医研・レドックス制御、²財・体質研究会

P-21 天然および合成 4-プロペニルフェノール誘導体のラジカル消去活性

○川島知憲^{1,2,3}、中西郁夫^{1,3}、宇都義浩⁴、大久保敬³、Sushma Manda¹、金澤秀子²、福原潔⁵、
奥田晴宏⁵、永澤秀子⁴、堀均⁴、福住俊一³、安西和紀¹、小澤俊彦^{1,6}、伊古田暢夫¹

¹放医研、²共立薬大、³阪大院工・SORST、⁴徳島大工、⁵国立衛研、⁶東北大未来研

P-22 フラーレン誘導体の抗酸化作用とプロオキシダント効果の検討

佐竹恵理子¹、○高橋恭子¹、中村成夫¹、松林賢司²、増野匡彦¹

¹共立薬大、²ビタミンC60 バイオリサーチ株式会社

P-23 Mn ポルフィリン含有ナノキャリアの合成とその in vitro 抗酸化機能

荒木良太、朝山章一郎、長岡昭二、○川上浩良

首都大 都市環境

P-24 白金ナノ粒子含有スチームの抗酸化作用の研究

○内田聡、長田光司

松下電工株式会社

P-25 イオン変換器内蔵型直流式電位治療器の抗酸化作用の検討（第1報）

○堀口昇、堀口裕、山田真由美、大谷麻早

堀口医院

P-26 イオン変換器内蔵型直流式電位治療器の抗酸化作用の検討（第2報）

○堀口裕、堀口昇、二見英揚

堀口医院

レドックスシグナル

P-27 アスタキサンチンは高血糖暴露によるメザンギウム細胞からの TGF-β産生を抑制
する

○半田修¹、内藤裕二¹、眞鍋えみ子¹、眞岡孝至²、高木智久¹、古倉聡¹、吉田憲正¹、吉川敏一¹

¹京都府立医科大学、²生産開発科学研究所

P-28 EC-SOD 発現に及ぼす TNF-αの影響

○足立哲夫、原宏和、高島英滋、甲田明英

岐阜薬科大学

P-29 HL-60 細胞の紫外線刺激に対する応答

○西方敬人^{1,2}、木内亜季子¹、佐々木尚子²

¹甲南大学理工学部生物学科、²甲南大学先端生命工学研究所

P-30 2,4,6-トリニトロトルエンによる内皮型一酸化窒素合成酵素のリン酸化作用の解析

孫洋、○角大悟、熊谷嘉人

筑波大院人間総合科学研究科

P-31 活性酸素によるシアル酸の遊離は、シアリルルイスXを介した細胞接着を抑制する

○江口裕伸¹、池田義孝²、大河原知水¹、藤原範子¹、Peng G. Wang³、谷口直之⁴、鈴木敬一郎¹

¹兵庫医大・生化、²佐賀大・医・細胞生物、³Depts. Biochem. Chem., The Ohio State Univ、⁴阪大院・医・生化

DNA 損傷

P-32 DNA 鎖切断能を有する dihydropyrazine 類からの radical species

○山口忠敏¹、武知進士¹、伊藤茂²、鹿志毛信広³

¹崇城大薬学部、²東京医歯大生材研、³福岡大薬学部

P-33 水溶性 C₇₀ フラーレンの光反応による活性酸素生成と DNA 切断

○中西郁夫^{1,2}、大久保敬²、川島知憲^{1,2,3}、川口久美子^{1,2,3}、乳井美奈子¹、田草川光子¹、末延知義²、福原潔⁴、奥田晴宏⁴、金澤秀子³、宮田直樹⁵、小澤俊彦^{1,6}、安西和紀¹、福住俊一²、伊古田暢夫¹

¹放医研、²阪大院工・SORST、³共立薬大、⁴国立衛研、⁵名市大院薬、⁶東北大未来研

P-34 酸化了的遺伝子損傷作用を引き起こす芳香族カルボニルの構造条件

○大林学武、仲秋寿人、岡本誉士典、植田康次、戸田千登世、小嶋仲夫

名城大学

P-35 天然抗酸化物質クロロゲン酸による酸化了的 DNA 損傷

○沼田遥、村田真理子、川西正祐

三重大院・医・環境分子医学

P-36 体内における酸化了的核酸損傷物質の効果的指標；尿中への 8-OHdG 排泄速度

○松本由紀^{1,2}、吉田吏江¹、小川康恭¹

¹独立行政法人産業医学総合研究所、²独立行政法人産業医学総合研究所研修生・北里大学大学院医療系研究科

NO

P-37 悪性線維性組織球腫における iNOS 依存性 DNA 損傷：予後との関連

○法貴葉子¹、平工雄介²、馬寧³、村田真理子²、松峯昭彦¹、長浜真人³、新谷健¹、内田淳正¹、川西正祐²

三重大学大学院医学系研究科¹整形外科、²環境分子医学、³発生再生医学

P-38 ビルハルツ住血吸虫感染による iNOS 依存性 DNA 損傷の膀胱癌における役割

○小林果^{1,4}、平工雄介¹、馬寧²、及川伸二¹、村田真理子¹、El-Karef Amro³、吉田利通³、川西正祐¹
三重大院・医・¹環境分子医学、²発生再生医学、³修復再生病理学、⁴学振特別研究員 DC

P-39 ヒトパピローマウイルス感染によるニトロ化 DNA 損傷の子宮頸癌における役割

○平工雄介¹、田畑務²、馬寧³、川西正祐¹
三重大院・医・¹環境分子医学、²産婦人科、³発生再生医学

P-40 EB ウイルス感染による上咽頭癌におけるニトロ化 DNA 損傷およびその分子機構

○馬寧¹、川西美知子³、平工雄介²、黄光武⁴、黄元姣⁴、羅殿中⁴、莫偉光⁴、川西正祐²
三重大院・医・¹発生再生医学、²環境分子医学、³京都大院・医・微生物感染症学、⁴中国広西医科大学耳鼻科

P-41 活性窒素種による DNA 損傷評価法の構築

○石井雄二¹、大柄敦資¹、梅村隆志²、岩崎雄介¹、伊藤里恵¹、斉藤貢一¹、西川秋佳²、広瀬雅雄²、中澤裕之¹
¹星薬科大学、²国立医薬品食品衛生研究所・病理部

P-42 iNOS 由来の NO はアドリアマイシンによる尿細管間質障害を増悪させない

○樗木隆聡¹、永瀬宗重²、平山暁²、植田敦志²、井上真理子²、横山秀克³、大矢博昭⁴、吉村哲彦⁵、草野英二⁶
¹国際医療福祉病院腎臓内科、²筑波大学腎臓内科、³独立行政法人産業技術総合研究所中部センター、⁴キョーコム株式会社京都営業所、⁵財団法人山形県産業技術振興機構、⁶自治医科大学腎臓内科

ESR

P-43 パーフルオロアルキルラジカルの ESR 画像化

○横山秀克¹、小野泰蔵¹、吉村哲彦²
¹産総研、²山形県産業技術振興機構

P-44 金属イオン存在下におけるニトロキンドスピンプローブによるペルオキシラジカル消去反応

川口久美子^{1,2,3}、○中西郁夫^{1,2}、大久保敬²、川島知憲^{1,2,3}、金澤秀子³、安西和紀¹、竹下啓蔵⁴、小澤俊彦^{1,5}、福住俊一²、伊古田暢夫¹
¹放医研、²阪大院工・SORST、³共立薬大、⁴崇城大薬、⁵東北大未来研

P-45 Ketprofen 光線過敏症におけるフリーラジカル生成の解析

○山田健一¹、石丸淑子¹、市川和洋¹、八尾隆史²、恒吉正澄²、内海英雄¹
¹九州大学大学院薬学研究院、²九州大学大学院医学研究院

P-46 ヒト毛髪に内在するラジカル種の定量的 ESR 計測による研究

○柳直樹^{2,3}、金折賢二¹、藤田英夫¹、田嶋邦彦¹
¹京工織大、²ホーユー株式会社、³京工織大地域共同研究センター

P-47 フラボノイド類と無機ニトロキシドラジカルの酸化還元反応解析

○柳谷小百合、渡部るしる、金折賢二、田嶋邦彦
京都工繊大 生体分子工学

P-48 5および6員環ニトロキシドラジカルのアスコルビン酸による還元反応速度と機構解析

○出口知子、渡部るしる、金折賢二、田嶋邦彦
京都工繊大 生体分子工学